

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年1月14日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年1月14日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機タービン建屋補機冷却系熱交換器出口ヘッダーベント弁のシート漏えいについて】 当直員の現場確認において、タービン建屋補機冷却系熱交換器出口ヘッダーベント弁の一次弁及び二次弁にシート漏えいが発生していることを確認。 タービン建屋補機冷却系熱交換器出口ヘッダーベント弁の二次弁の下流側へ閉止栓の取付を行い、シート漏えいの停止を確認したことから、系統への影響なし。 今後、当該弁の交換を実施予定。</p>	GⅢ	1月8日
2	<p>【J3、J4、H1東タンクエリア堰内水位監視用webカメラによる監視不能について】 当社社員が、J3、J4、H1東タンクエリア堰内水位監視用webカメラの映像が免震重要棟集中監視室の監視盤で確認できないことを確認。 調査の結果、通信機器に異常はなく、監視用webカメラ単体の故障と推定。 なお、堰内水位は毎日1回タンクパトロールにて確認しているため、定例業務における支障なし。 今後、原因の詳細調査を行い、再発防止対策を検討し実施予定。</p>	GⅢ	1月9日
3	<p>【5号機原子炉建屋天井クレーンにおけるリミットスイッチ破損状態の発見について】 協力企業作業員が、5号機原子炉建屋天井クレーンの使用前確認において、当該クレーンの動作に使用するリミットスイッチのレバーの折損を確認。 なお、折損したレバーについては、当該リミットスイッチ近傍にて発見したため、燃料プール内への異物の混入はない。 今後、原因の詳細調査を行い、再発防止対策を検討し実施予定。</p>	GⅢ	1月11日
4	<p>【5号機消火系とタービン建屋補機冷却系との連絡配管圧力調整弁の空気抜き穴からの水の滴下について】 当直員が、消火系とタービン建屋補機冷却系との連絡配管圧力調整弁の弁本体にある空気を抜く穴より、水の滴下を確認。 当該圧力調整弁のグランド部から漏れた水が空気抜き穴より滴下したものと推定。 現在は、バケツにて滴下した水を受けており、定期的にパトロールで排水を行う運用としている。 今後、原因の詳細調査を行い、再発防止対策を検討し実施予定。</p>	GⅢ	1月12日